

# NEWS RELEASE

---

## 中国フィンテック企業である 北京中関村科金技術有限公司への出資について

株式会社あおぞら銀行（代表取締役社長兼最高経営責任者(CEO)：馬場 信輔、本店：東京都千代田区、以下「当行」）は、株式会社マーキュリアインベストメント（代表取締役：豊島 俊弘、本店：東京都千代田区、以下「マーキュリア」）が組成する、北京中関村科金技術有限公司（董事長：趙国慶、本社：中国北京市、以下「中科金社」）向けのターゲットファンド（注）（China Fintech L.P.）に出資いたしましたので、お知らせいたします。

中科金社は、中国でフィンテックを駆使した個人向け総合金融サービスを展開する企業です。中科金社は、2015年の設立以降、自社エンジニアにより、フィンテックに関連する400以上の独自システムを開発するとともに、金融ライセンスに必要となるリスク管理体制やインフラの整備を行い、2017年より本格的なサービスを開始しました。中科金社のオンライン消費者金融は、既に業容を急拡大していることに加え、今後は保険、オートファイナンス、銀行業務といった一連の金融サービスを順次展開する計画です（一部業務については開始済み）。

マーキュリアは、中科金社に対する増資後、中科金社向けのターゲットファンド組成を行い、当行はこのたび当該ターゲットファンドに出資しました。

今後益々拡大する中国国内での少額資金ニーズに対して、中科金社はテクノロジーとライセンスの両方を兼ね備えた企業として更なる成長を遂げると期待され、当行はマーキュリアと共に、本件ターゲットファンド出資を通じて日本国内及び海外市場における戦略パートナーとして、アジア諸国におけるフィンテックの可能性を追求してまいります。

当行は、今後とも、ユニークで専門性の高いサービスの拡充に努め、“あおぞら”らしさに磨きをかけることで、“進化する「頼れる、もうひとつのパートナーバンク」”として、お客さまに対して付加価値の高いソリューションを提供してまいります。

## <マーキュリアについて>

株式会社マーキュリアインベストメントは、2005年設立の東証一部上場（7190）の投資運用会社で、成長が期待できる事業や、高い収益性が見込める資産を中心に投資を行っています。特に、既成概念や国境の枠を超えクロスボーダーをコンセプトに様々な投資にチャレンジしています。尚、中国での企業投資や不動産投資の実績も豊富です。

## <ファンド概要>

ファンド名称： China Fintech L.P.

組成日： 2018年10月3日

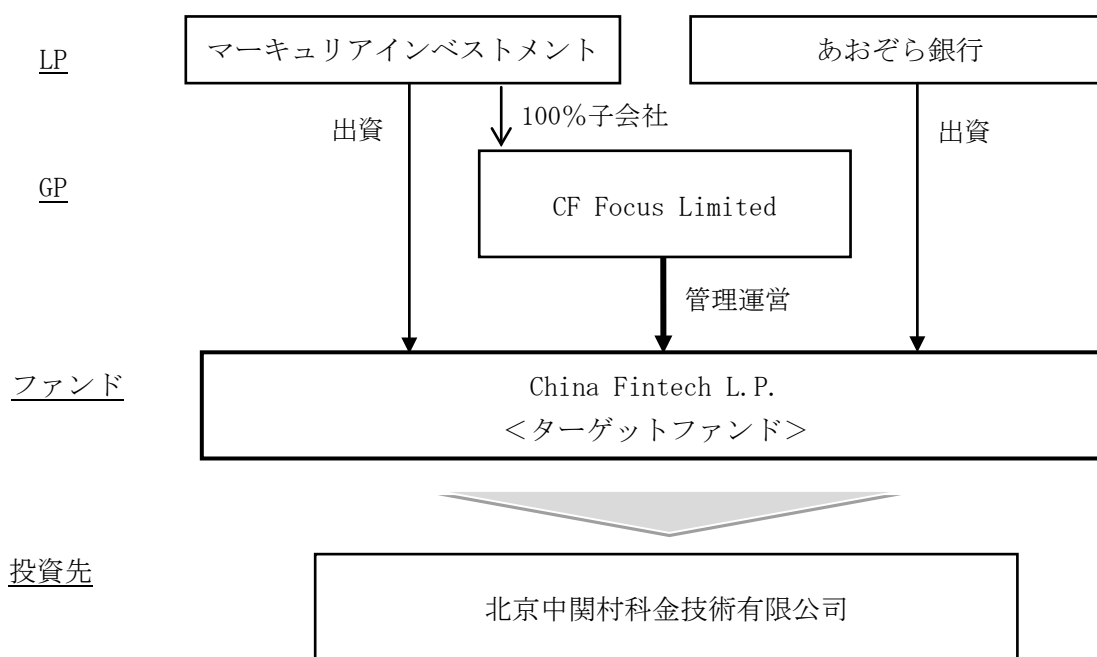
ファンド総額： 13.5億円

General Partner： CF Focus Limited（マーキュリア100%出資子会社）

Limited Partner： マーキュリア、当行

ファンド期間： 存続期間10年（必要に応じて延長を行うこともあります）

## <スキーム図>



(注) ターゲットファンド：投資対象があらかじめ確定しているタイプのファンド。

(報道関係のお問合せ先：経営企画部 広報室 後藤 03-6752-1217)